

淀川水系流域委員会 第 100 回運営会議（2008.11.28 開催）結果報告		2008.12.4 庶務発信
開催日時	2008 年 11 月 28 日（金）15:30～17:20	
場 所	大阪合同庁舎第 1 別館 2F 第 2 会議室	
参加者数	委員長、副委員長：3 名、河川管理者：3 名、一般傍聴者：13 名（マスコミ含む）	
<p>1．決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年 1 月～3 月で委員会開催の日程調整を庶務にて早急に行う。 ・第 101 回運営会議の開催（候補日：平成 20 年 12 月 24 日（水）25 日（木）26 日（金）） <p>2．報告の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長より副委員長として 3 名（綾史郎委員・竹門康弘委員・千代延明憲委員）を選任したことが報告された。 ・河川管理者より宮武晃司河川調査官の着任（10/1 付）について報告がなされた。 ・庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。 <p>3．審議</p> <p>今後の流域委員会の進め方および事業進捗点検の進め方について：主な内容は以下の通り（例示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は河川整備計画案を各府県知事に説明し知事からの意見を待っている状況である。我々としては一刻も早く整備計画の策定に全力を注ぎ、その後に事業進捗点検を進めていきたいと考えている（河川管理者）。 <p>整備計画が策定された後に進捗点検をやるのではなく、整備計画が決まることを前提に具体的な事業進捗点検の進め方について先行して議論してもよいのではないかと。</p> <p>整備計画策定後すぐに実施する事業、計画期間内で実施する事業、実施するかどうかを検討する事業などのランク区分があると思うが、それら事業の進め方そのものについて議論できる場があってもいいと思う。</p> <p>事業進捗点検の進め方について、これまでのやり方で良いのか議論の余地がある。</p> <p>我々としても具体的な進め方の案を示した上で議論して頂きたいと思っているが、河川整備計画の策定が混沌としている状況の中ではなかなか手が回らない状況であり、すぐに事業進捗点検に入るの厳しい状況である。（河川管理者）</p> <p>事業進捗点検を進める上での課題だけでも委員会へ示してもらえれば河川管理者が進め方の案をつくる上で参考となる意見を言うことができる。</p> <p>事業進捗点検は継続しなければいけないシステムであり、ゼロの状態で頂いた意見をもとに河川管理者が進め方の案をつくるより、先ずは、我々の方で仕組みを提案させて頂いた上で、委員会で議論していただきたいと考えている（河川管理者）。</p> <p>河川管理者から提案頂くのは重要なことだが、完全でなくとも事業進捗点検についてある程度の方向性を提示して頂き委員会で事業進捗点検の進め方について議論できればと思う（委員長）。</p> <p>日程調整を実施し候補日を提示して頂いた上で 12 月中には委員会の日程について調整することでどうか。12 月 24 日・25 日・26 日のいずれかで次回委員会の日程調整のための運営会議を開催することとし、委員には今日の会議内容を伝え、来年 1～3 月の日程を確認することとする。できれば 1 月中には委員会を開催したいという思いはある（委員長）。</p>		

以上

運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。